

プレスリリース

2026年3月2日 スウェーデン ローゼンバーク

Steelwrist、CONEXPO-CON/AGG 2026で北米事業の拡大と新製品を発表

Steelwristは、コネチカット州ニューイントンにおける現地組立拠点の稼働および新型XTR10チルトローテータの導入を背景に、北米での事業拡大フェーズの中で**CONEXPO-CON/AGG 2026**に出展します。本モデルは、北米で最も広く使用されている油圧ショベルのサイズクラスの一つに、同社の第三世代チルトローテータプラットフォームを拡張するものです。

本展示会では、Steelwristは北米で初めて**SQ40**全自動カプラシステムを披露するとともに、**SQL**自動クイックカプラを発表し、ホイールローダー用アタッチメント分野への参入を果たします。**Festival Grounds**内のブース**F27055**では、チルトローテータおよび全自動クイックカプラを活用した実際の現場作業フローをライブデモンストレーションでご紹介します。

現地組立体制の強化により拡大するSteelwristの現地組織

CONEXPO-CON/AGG 2026は、Steelwristにとって同地域における重要な節目となります。近年、同社は現地でのプレゼンスを拡大し、技術サポート体制を強化するとともに、OEMパートナーとの協力関係を深めてきました。米国内での現地組立の開始に加え、ホイールローダー向けソリューションも含む幅広い製品ラインナップを展開することで、Steelwristは北米市場における新たな成長フェーズへと進んでいます。

Steelwristは、コネチカット州ニューイントンにある北米本社の体制を拡充し、チルトローテータおよびクイックカプラの組立を現地で行う体制を整えました。この拡張により、生産能力全体が向上するとともに、地域全体のディーラーおよびOEM向け装着における納期短縮と製品供給体制の大幅な改善が実現します。

製品を現地で組み立てることで、Steelwristはディーラーや機械メーカーへのサポート体制を強化し、市場の需要に迅速に対応できる体制を構築しています。ニューイントンで拡大を続けるチームは、米国およびカナダ全域において、お客様、ディーラー、OEMと緊密に連携し、効率的な導入と技術サポートを実現しています。

今回の投資は、北米市場に対するSteelwristの長期的なコミットメントを示すものであり、請負業者の間でチルトローテータおよび全自動クイックカプラの導入が加速する中、継続的な成長を支えるものです。

「CONEXPO-CON/AGGは、北米における当業界で最も重要な交流の場であり、お客様、ディーラー、OEMパートナーと直接つながる絶好の機会です。Steelwristチームとともに、ブースにご来場いただく皆様をお迎えし、当社のソリューションが現場の日常的な生産性向上にどのように貢献するかをご紹介できることを楽しみにしています」Steelwrist アメリカ地域担当副社長 Peter Gaj。

第3世代チルトローテータの継続的な拡充 — XTR10の発表

Steelwristは、CONEXPO-CON/AGG 2026にてXTR10チルトローテータを発表し、第3世代XTRチルトローテータシリーズの拡充を続けます。Steelwristブースでは、同社の第3世代チルトローテータプログラムから、XTR2、XTR10、XTR15、XTR20、XTR23の5モデルを展示します。

6～10トンクラスの油圧ショベル向けに設計され、従来のX12モデルに代わるXTR10は、大型XTRモデルで導入された性能向上、耐久性強化、先進技術を同様に備えています。このクラスの請負業者は日常的に複数のアタッチメントを使用することが多く、迅速なアタッチメント交換は大きな効率向上要因となります。XTR10の北米市場向け出荷は、2026年後半に開始予定です。

鋳鋼コンポーネント、最適化されたチルト構造、高トルク回転により、XTRシリーズはコンパクトな全高を維持しながら、高精度でスムーズな操作性を実現します。また、本プラットフォームには、SteelwristのLockSense安全システム、OptiLubeオンボード自動給脂システム、そしてマシンコントロールシステムとの統合に対応する高解像度センサーが搭載されています。

「第3世代XTRチルトローテータにより、私たちは大きな技術的進歩を遂げました。市場からの反応も非常に好調です。24か月以内に5モデルを発売し、すでに1,000台以上を販売したことは、請負業者が日々の機械稼働率に直接影響する効率向上を高く評価していることを示しています」Steelwrist CEO Stefan Stockhaus

SQ40全自動カプラを北米で初披露

Steelwristは、SQ40全自動クイックカプラソリューションを北米市場で初めて発表します。本システムは、造園、インフラ工事、一般土木で広く使用されている4～7トンクラスの油圧ショベル向けに設計されています。

SQ40テクノロジーにより、オペレーターはキャビンから降りることなく油圧式ワークツールを交換できます。本システムは、マシンカプラとして使用する場合は最大70リットル／分、チルトローテータ下では最大35リットル／分の流量に対応し、ミニショベルで油圧式アタッチメントを効率的に駆動することが可能です。

Steelwristのデモンストレーションエリアでは、SQ40を装着した2台の油圧ショベルが、幅広い機械式および油圧式ワークツールを共有して使用します。ライブデモンストレーションでは、1台の機械で複数の作業をこなすことで、ダウンタイムを削減し、機械の稼働率を高められることを紹介します。

SQ40自動オイル接続テクノロジーをミニショベルに展開することで、Steelwristは日々複数の作業を行う請負業者を主なターゲットとしています。



Festival Groundsの新ロケーションでライブデモ開催、CONEXPO-CON/AGG会場各所でSteelwrist製品を紹介

Steelwristは、Festival Grounds内ブースF27055にて、午前10時より毎時ライブデモンストレーションを実施します。各回10～15分のデモでは、4台のマシンを使用し、実際の現場作業を再現します。

Volvo ECR25 Electric (XTR2 S30装着)

Kubota KX057-5 (X07 SQ40装着)

Bobcat E60 (X07 SQ40装着)

Case CX145D SR (XTR15 SQ60装着)

KubotaおよびBobcatのマシンは、複数のワークツールを共有し、SQ40全自動カプラテクノロジーの効率性を実演します。Open-S準拠のSQ60カプラを装着したCaseの油圧ショベルは、異なるメーカーの油圧式ワークツールを操作し、標準化されたカプラインターフェースによる相互運用性を示します。本デモンストレーションでは、手動でアタッチメントを交換することなく、1台のマシンで複数の作業を行える様子を再現します。

Steelwristブースに加え、会場内各所でもSteelwristのチルトローテータおよびカプラを装着したマシンをご覧いただけます。この広範な展示は、機械の稼働率向上と柔軟性を求める請負業者からの需要の高まりと、SteelwristがOEMおよび他のアタッチメントメーカーと緊密に連携していることを示しています。OEMとの統合事例の増加は、現場の生産性向上への期待が高まる中、北米市場におけるチルトローテータ技術の普及拡大を明確に示しています。

3月3日、Steelwrist主催によるOpen-S Alliance記者会見を開催

3月3日午後2時30分より、Steelwristは自社ブースにて「Open-S — 成長を続ける自動カプラのグローバルスタンダード」と題した記者会見を開催します。本記者会見は、CONEXPO-CON/AGG公式プログラムの一環として、メディアおよび報道関係者向けに実施されます。Open-S Alliance理事会の代表者および加盟企業が登壇し、拡大を続けるアライアンスに新たに加わる北米メンバーを紹介するとともに、最新の取り組みについて発表します。ライブデモンストレーションでは、異なるメーカーのOpen-S準拠製品間の相互運用性を実演します。

Open-Sは、異なるメーカーのカプラ、チルトローテータ、ワークツールが安全機能を維持しながら相互に使用できるようにする業界標準です。Open-S Allianceは、機器の互換性と業界のイノベーションを支援し、Open-S規格の開発および普及を唯一の目的とする独立した非営利団体です。Steelwristは本団体の共同設立メンバーです。

Steelwrist SQL、実績ある油圧ショベル技術をホイールローダーへ展開

Steelwristは、SQL自動クイックカプラの導入により、製品ラインナップを油圧ショベル以外の主要建設機械カテゴリーへ拡大し、ホイールローダー用アタッチメント市場に参入します。ホイールローダーは、建設およびマテリアルハンドリング分野において、特にアタッチメントの使用頻度が高い機種の一つです。



初号機となるSQL50は、油圧式パレットフォークを装着したVolvo L70H、およびSnow Wolf製スノーブローを装着したHitachi ZW140 (HitachiブースF19012に展示)で紹介されます。SQL50は、稼働重量6～20トンクラスのホイールローダー向けに設計されており、発表と同時に販売を開始します。SQLシステムは、Steelwristの油圧ショベル向けSQソリューションで採用されている自動油圧接続の原理を適用しており、オペレーターはキャビンから降りることなく動力付きアタッチメントを交換できます。これにより、マテリアルハンドリングや建設用途において、安全性、稼働率、機械利用効率が大幅に向上します。

「私たちは20年以上にわたり、Steelwristのチルトロータータおよび自動カブラを通じて油圧ショベルの効率向上に取り組んできました。SQLにより、その経験をホイールローダー分野へ展開します。これはSteelwristにとって重要な戦略的ステップであり、新たな製品カテゴリーの開拓となります。SQL製品をご紹介します、請負業者の皆様からのフィードバックを伺えることを楽しみにしています」Steelwrist CEO Stefan Stockhaus

詳細については、以下の連絡先までお問い合わせください:

ステファン・シュトックハウス
最高経営責任者(CEO)
Steelwrist AB
stefan.stockhaus@steelwrist.com
電話: +46 709981321

カール・ゼルネベルク
OEMセールス&マーケティング担当副社長
Steelwrist AB
karl.serneberg@steelwrist.com
電話: +46 702619811

*Steelwrist*について

*Steelwrist*は、スウェーデンに本社を置く油圧ショベル用チルトロータータ、クイックカブラー、ワークツールのグローバルメーカーです。堅牢で最新の製品にしっかりと焦点を当て、迅速なサービスを提供することで、世界中のますます多くのお客様に高く評価されています。*Steelwrist*の詳細については、steelwrist.comをご覧ください。